

科目名	ミクロ経済学 I	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群	
			経済学科	□ 必修 ■ 選択
			学科	□ 必修 □ 選択
英文表記	Microeconomics	開講年次	■ 1年 □ 2年 □ 3年 □ 4年	
		開講期間	□ 前期 ■ 後期 □ 通年 □ 集中	
ふりがな	たむら ひであき	実務家教員担当科目	修得単位	2単位
担当者名	田村 英朗	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用	
授業のテーマ	価格と市場の動きは、経済学の基礎の第一歩です。焦らずにじっくりと学んでいきます。			
到達目標	この講義受講により、ミクロ経済学の考え方の基本を理解し、単に教科書的に説明できるだけでなく、実生活面でも応用できるようになる。			
授業概要	テキストに沿って解説していきます。時々、応用問題を交えて理解を深めていきます。 なお、授業における PC 活用方法について適宜、指示する場合がありますので留意して下さい。			
授業計画				
第1回	ミクロ経済学の論理と方法			
第2回	市場機構と需要・供給			
第3回	数学の復習、消費者の予算制約			
第4回	消費者と需要(1) 無差別曲線、効用最大化問題			
第5回	消費者と需要(2) 制約条件付き最適化の解法			
第6回	消費者行動と需要曲線			
第7回	消費者需要理論の応用と拡張			
第8回	企業行動と生産関数(1)			
第9回	企業行動と生産関数(2)			
第10回	企業行動と費用関数(1)			
第11回	企業行動と費用関数(2)			
第12回	企業の長期費用曲線と市場の長期供給曲線			
第13回	完全競争市場と効率性(1) 余剰分析と社会的厚生、パレート効率性			
第14回	完全競争市場と効率性(2) 消費と生産の効率性、社会的厚生関数			
第15回	復習			
第16回	定期試験			
授業時間外の学習	1. 授業で配るプリントや課題に十分に取り組んでください。(1時間程度) 2. 日頃から日本経済新聞やその他の経済誌に目を通すようにしてください。(0.5時間程度)			
履修条件 受講のルール	テキストに沿って講義を進めるので、必ず購入してください。なお、適宜資料を配布しますが、事前に連絡が無く欠席した学生には原則配布しませんので、友人同士でコピーして下さい。			
テキスト	西村 和雄『現代経済学入門 ミクロ経済学(第3版)』岩波書店、2011年。			
参考文献・資料	武隈 慎一『新版 ミクロ経済学(第3版)』新世社(サイエンス社)、2016年。			
成績評価の方法	小テスト・レポート 40%、定期試験 60%をおよその目安として、総合的に評価します。 ・出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。 ・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。 ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。 ・授業の理解、および予習復習が充分であることを確認するため、授業中に小テストを行います。 ・レポート課題は授業内又は掲示板(ポータルサイト含む)で指示します。			

オフィスアワー	担当科目がある曜日の第4時限の時間帯 ※これ以外の時間帯は必ず事前に予約してください。(毎週金曜日を除きます)
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	ミクロ経済学は、マクロ経済学も含めたすべての経済学分野の土台となる学問領域です。理論を学ぶと無味乾燥だった数学や数式の価値がわかり、興味が湧いてきます。是非、実践的に役立つように習得してください。